

第23期

イーサポートリンク株式会社

株主通信

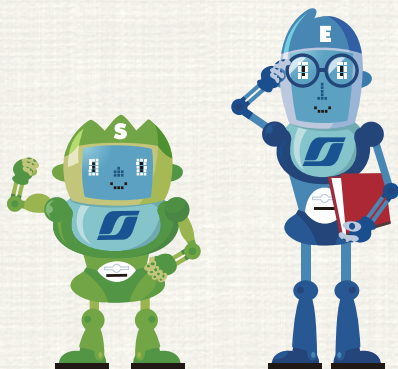
2019年12月1日～2020年11月30日

みんなの笑顔のために

食の安全・安心を守ります

【社長インタビュー】
株主の皆様へ

【特集 おしえて！イー君・サポ君】
優待品で人気のりんごジュース
そのおいしさの秘密とは!?



株主の皆様へ

コロナ禍における社会や生活者（消費者）意識の変化の中で求められる、迅速なサービスの実現を目指してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第23期「株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 堀内 信介



2020年11月期の総括

2020年11月期は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続き、生活者（消費者）や社会の意識変化が顕著な1年となりました。

そのような状況の中で、当社の顧客である生鮮流通事業者は、食品ロスや環境問題、地域内循環やサプライチェーン短縮化の重要性といった社会意識の変化および衛生意識の高まりや節約志向、家庭内調理の増加などの生活者（消費者）の意識変化に対応してきました。

主な対応策として、非接触型・キャッシュレスなどの店舗効率化やインターネット活用による顧客の囲い込

み、節約・簡便・健康志向・環境問題に適した商品調達や供給力の強化、ECや宅配サービスの利用拡大に伴う、物流事業者の負担増大を踏まえた物流機能の効率化といった、構造的課題への対応スピードを上げてきました。

当社も生活者（消費者）や社会の意識変化に注視し、従来のノウハウや経験が活かせる分野において、顧客の取り組みと共に各業界のプレイヤーと協力しながら出来ることを模索し、様々な対策を行い、サービス化に繋げてまいりました。

売上高につきましては、56億53百万円（前連結会計年度比1.6%増）、営業利益は2億65百万円（同1.4%増）、経常利益は2億35百万円（同7.1%減）、親会社

株主に帰属する当期純利益は1億16百万円（同31.2%増）となりました。

オペレーション支援事業について

当社はこれまで輸入青果物流通のオペレーション支援事業と小売・量販店とその取引先向けの生鮮MDシステムを中心に事業を展開してまいりました。生鮮MDシステムは継続して拡大していくと共に、輸入青果物流通で培ったノウハウと経験を国産青果物流通への展開・運用を進めていくことで成長を目指していきます。

そのためには、以前からの課題でもあった受託業務オペレーションをより効率化させることが必要となるため、今期はRPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）の導入や既存システムの改廃を行い、業務の自動化を進めてまいりました。これにより労働生産性が上がると共に、インシデントや事故の発生件数が前年度より半分以下に減少し、サービスの品質を上げることができました。

また、今期は輸入青果物流通の顧客サービスが一部終了し、全体的に売上が減少しましたが、国産青果物流通事業への展開を視野に大手中間流通事業者の業務改善に関するコンサルティングを開始しました。

国産青果物流通の展開におきましては、地場野菜の地産地消を目指すための実証実験や生産者と小売・量販店を繋ぐ直取引の取り組み、既存の市場関係者と市場流通にかかる課題やソリューションの検討も進めました。

生鮮MDシステムにおきましては、顧客のグループ会社の統合や分社化などが行われ、より細かいニーズに対応するため、機能の改修や追加を実施しました。また、未導入であったグループ会社や部門および地方のスーパーマーケットへの導入支援のため、積極的な営業活動を継続的に実施しています。

以上の結果、オペレーション支援事業につきましては、売上高44億75百万円（前連結会計年度比3.3%減）、営業利益は14億75百万円（同5.4%減）となりました。

農業支援事業について

2018年から取り組んでいるドラッグストア向けの青果売場構築支援におきましては、期末時点での黒字化を目標にしておりましたが、コロナ禍の影響により達成はできませんでした。しかしながら、当該事業のニーズは大きく、パートナー企業の開発や導入店舗を増やすための営業活動を行いました。

青森県「岩木山りんご生産出荷組合」での受託販売事業におきましては、令和2年度産のりんご収穫量が増加し、新たな国産青果物の取り扱いも上昇傾向となりました。子会社における有機農産物販売事業についても輸入有機果実の売場が拡大し、来期は有機バナナに加え、有機キウイフルーツや有機アボカドなども取り扱いを予定しています。

また、海外で実証実験を実施しているリモートセンシ

ング技術のビジネス活用におきましては、コロナ禍の影響を受けていますが、継続して国内で実証実験ができる環境を整えました。

以上の結果、農業支援事業につきましては、売上高11億77百万円（前連結会計年度比26.3%増）、営業損失1億93百万円（前連結会計年度は営業損失2億3百万円）となりました。

2021年11月期の業績見通し

前期より引き続き、これまでの輸入青果物流通にかかるノウハウや経験を活かし、国産青果物流通に展開していくことで、時代の変化に沿ったリアルタイムな対応を実施し、常に新しい技術を導入することで、企業成長を図ります。

そのために、業務の効率化や生産性の向上を進め、どこよりも安く、高品質なオペレーションサービスを提供できる環境を整えています。

生鮮MDシステムは、大手量販店グループへのさらなるシェアアップと共に、地方スーパーマーケットに向けた拡販の準備をしております。

ドラッグストア向け青果売場構築支援は、実証実験を経て本格展開を行ってまいります。また、既存の輸入青果物流通に関しては、顧客の経営戦略などを十分に配慮しながら、最適なビジネス関係を構築していきたいと考えています。



2021年11月期の通期業績見通しにつきましては、売上高は59億7百万円（前連結会計年度比4.5%増）、営業利益は73百万円（同72.1%減）、経常利益は71百万円（同69.9%減）、親会社に帰属する当期純利益は48百万円（同58.3%減）を見込んでいます。

株主還元について

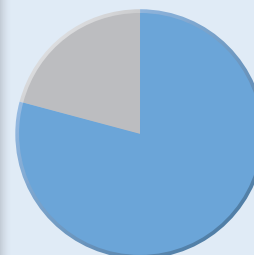
当社は、株主・投資家の皆様への利益還元を重要な経営課題とし、経営の強化および将来の事業展開に必要な資金を確保しながら、安定的な配当を継続的に実施いたします。2020年11月期の期末配当金につきましては、1株につき5円といたしました。また、株主・投資家の皆様からの日頃のご支援に感謝すると共に、投資魅力を向上させ、当社事業へのご理解を一層深めて頂くことを目的として株主優待制度も実施しております。

株主・投資家の皆様のご期待に沿えるよう、積極的な投資による成長を促進させ、企業価値を高めてまいりますので、皆様のご理解・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

セグメント別概況

売上高構成比

4,475百万円
79.2%



オペレーション支援事業

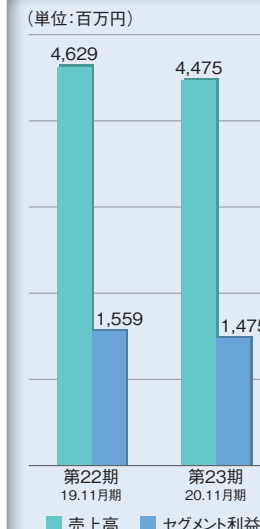
業況

当社の輸入青果物の流通オペレーションにかかわるノウハウや知見について、国産青果物流通に展開する取り組みを各企業と実証実験を行ってまいりました。地産地消など売場を起点とした調達支援の取り組み、仲卸企業とは既存の市場流通の課題解決に向けた取り組み、生産者とは小売企業との直取引支援の取り組みを行い、サービス化を実現いたしました。

また、従前からの課題でありました、輸入青果物サプライチェーンの受託業務オペレーションの効率化を推進し、生産性を向上させることで、国産青果物流通への展開スピードを上げる環境を構築しております。さらに、大手チェーンストア向けの「生鮮MDシステム」については、顧客の地域分社化に伴い、地域毎のより細かいニーズに対応すべく機能の改修や追加を行い、未導入だったグループ会社や部門への導入に向けた取り組みを前期より実施するとともに、地方チェーンストアへの導入に向けた営業を本格化いたしました。

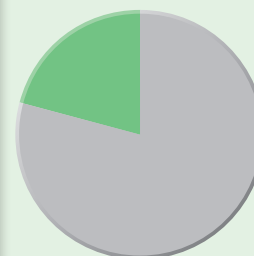
以上の結果、売上高44億75百万円（前連結会計年度比3.3%減）、営業利益14億75百万円（同5.4%減）となりました。

売上高推移



農業支援事業

1,177百万円
20.8%

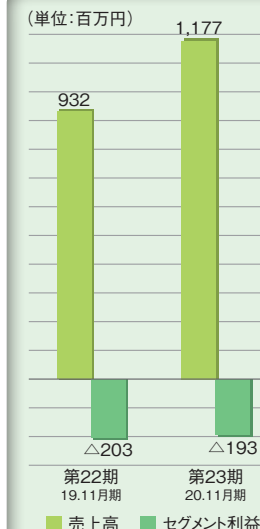


青森県の「岩木山りんご生産出荷組合」からのりんご事業については、令和2年度産のりんごの集荷量は増加とともに、新たに国産青果物の取り扱いも堅調に推移し、また、子会社の有機農産物販売については、輸入果実が増加と売上増に寄与いたしました。

2018年から取り組んでおりますドラッグストア向けの青果売場構築支援事業は、コロナ禍により当初目標であった期末時点での単月黒字化の達成はできませんでしたが、来年度に向けて本格展開の準備を行っております。

海外で実証実験を行ってまいりましたセンシング技術のビジネス活用に向けた取り組みは、コロナ禍ではありますが、国内で継続して実証実験ができる環境を整え、継続して行っております。

以上の結果、売上高11億77百万円（前連結会計年度比26.3%増）、営業損失1億93百万円（前連結会計年度は営業損失2億3百万円）となりました。



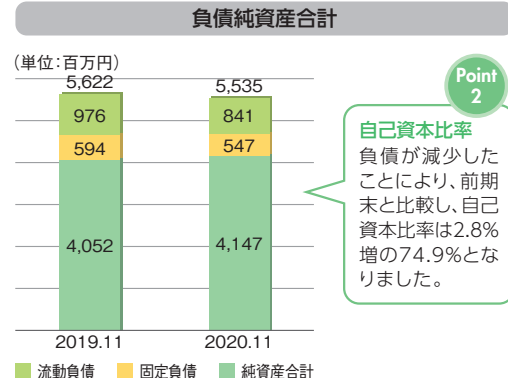
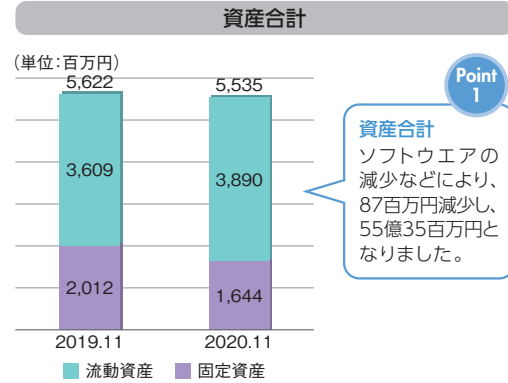
連結財務諸表

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第22期末 2019年11月30日現在	第23期 2020年11月30日現在	増減額
資産の部			
流動資産	3,609	3,890	281
固定資産	2,012	1,644	△368
有形固定資産	363	296	△67
無形固定資産	762	504	△257
投資その他の資産	886	843	△43
資産合計	5,622	5,535	△87
負債の部			
流動負債	976	841	△134
固定負債	594	547	△47
負債合計	1,570	1,388	△182
純資産の部			
株主資本	4,082	4,177	94
資本金	2,721	2,721	—
資本剰余金	618	618	—
利益剰余金	742	837	94
自己株式	△0	△0	△0
その他の包括利益累計額	△30	△29	0
純資産合計	4,052	4,147	95
負債純資産合計	5,622	5,535	△87



■ 財政状態に関する分析

資産の部

当連結会計年度末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて87百万円減少し、55億35百万円（前連結会計年度末比1.5%減）となりました。内訳としては、流動資産が38億90百万円（同7.8%増）、固定資産が16億44百万円（同18.3%減）となりました。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が3億6百万円増加したことによるものです。固定資産の主な減少要因は、ソフトウェアが1億98百万円、ソフトウェア仮勘定が59百万円減少したことによるものです。

負債の部

当連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて1億82百万円減少し、13億88百万円（同11.6%減）となりました。

内訳としては、流動負債が8億41百万円（同13.8%減）、固定負債が5億47百万円（同8.0%減）となりました。流動負債の主な減少要因は、リース債務が45百万円、未払金が51百万円減少したことによるものです。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が44百万円減少したことによるものです。

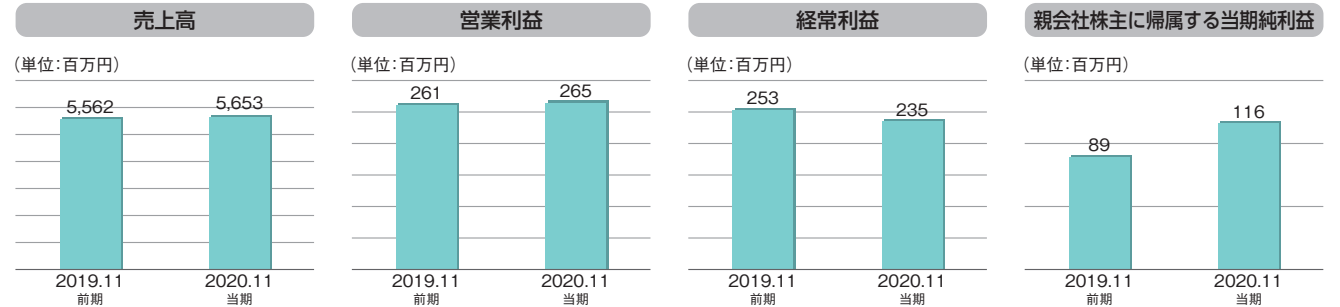
純資産の部

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて95百万円増加し、41億47百万円（同2.3%増）となりました。この結果、自己資本比率は74.9%となりました。その主な増加要因は、利益剰余金について親会社株主に帰属する当期純利益を1億16百万円計上した一方、配当により22百万円減少したことによるものです。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第22期 (前期) 自2018年12月1日 至2019年11月30日	第23期 (当期) 自2019年12月1日 至2020年11月30日	増減額
売上高	5,562	5,653	91
売上原価	3,332	3,379	46
売上総利益	2,229	2,274	44
販売費及び一般管理費	1,968	2,009	40
営業利益	261	265	3
営業外収益	16	9	△7
営業外費用	24	38	14
経常利益	253	235	△17
特別損失	55	67	12
税金等調整前当期純利益	198	167	△30
法人税等	55	35	△19
法人税等調整額	53	15	△38
親会社株主に帰属する当期純利益	89	116	27



■ 経営成績に関する分析

当社グループは、コロナ禍における社会及び消費者の意識変化に注視しておりました。特に当社グループの顧客が食品ロスや環境問題、地域内循環やサプライチェーン短縮化の重要性の認識といった社会の意識変化、衛生意識の高まり、節約志向や家庭内調理の増加といった消費者の意識変化に対応するため、非接触、キャッシュレスなどの店舗効率化やネット活用による顧客囲い込み、節約・簡便・健康志向・環境問題に対応した商品調達・供給力強化、ECや宅配利用増加に伴う物流業者の負担増大を踏まえた物流機能の効率化といった、構造的課題への対応スピードを上げてくと想定しております。その中で当社グループの経験

やノウハウが活かせる分野において、各業界のプレイヤーとの取り組み等を行ってサービス化に努めてまいりましたものの、コロナ禍において営業活動の制約等もあったことから、売上に関しては当初計画と比較して厳しい状況となりましたが、コスト等を削減することで営業利益ではほぼ計画通りに進捗いたしました。

売上高につきましては、56億53百万円（前連結会計年度比1.6%増）、営業利益は2億65百万円（同1.4%増）、経常利益は2億35百万円（同7.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億16百万円（同31.2%増）となりました。

特集
おしえて！
イー君・サボ君

優待品で人気のりんごジュース
そのおいしさの**秘密**とは!?



株主優待品としても
人気のりんごジュース。

どうしてそんなにおいしいのか!?
その秘密を探ります。

🍏 葉とらず栽培によるりんご本来の味へのこだわりと生産者の想い

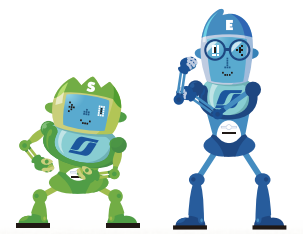
ジュースに使用されている原料のりんごは、“葉とらずりんご”。葉摘みをしない“葉とらずりんご”がおいしいことは、生産者の間では周知の事実でした。しかし、お店で手に取ってもらえるのは見た目にもキレイな真っ赤に染まったりんごばかりです。それでも生産者の方々は、ホンモノの美味しいりんごを生活者の皆様へお届けしたいという想いから、その葉を残したまま栽培することで、りんごの実に十分な栄養を与えることができ、甘さ・酸味・みずみずしさが豊富なりんご本来の味を生み出してきました。生産者の方々の想いがたくさん詰まったりんごから作られた私たちのりんごジュースは、様々な品種をブレンドしていますが、いつも変わらぬ味で皆様にご提供できるのです。

また、私たちの“葉とらずりんご”は、昼夜の寒暖差が大きく、土壌の水はけが良いりんご栽培に最も適した『りんごの聖地』と呼ばれる青森県岩木山の山麓で栽培されています。



🍏 私たちのりんごジュースがおいしい**4**つの理由

- 1 そのまま食べてもおいしい青森県産のりんごのみを使用
- 2 5種類以上のりんごを季節に合わせバランスよくブレンド
- 3 皮ごと丸搾りでおいしさと栄養がたっぷり詰まっている
- 4 ストレート 100% のジュース



りんごジュースの通販サイトのご案内

青森県産果汁100%無調整の「りんごジュース」が、通信販売で手軽にご購入いただけます。

📱 通販サイトはこちらから
ご覧いただけます



- **はっぴーはっば** で検索。
- イーサポートリンク(株)のホームページにもバナーを貼り付けています。

📄 QRコード読み取り機能の付いたスマホ、携帯電話は左のQRコードからアクセスできます。

☎️ お電話でもご注文を承ります!

• フリーコール
0800-888-1565
• 受付時間
平日 10:00~17:00 祝日を除く

おいしい味と香りで、 “HAPPY” に

葉とらずりんご
ストレートジュース (1000ml)

- 販売価格
3本セット 2,808円 (税込)
6本セット 4,860円 (税込)

■ 全国送料無料 (一部離島除く)

※お支払い方法により、手数料等がかかる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。



りんごジュースは、一年を通して販売しています。
りんご生果は季節商材のため、おいしく提供できる期間が限られています。

取扱い品種 カレンダー	9月 前:後	10月 前:後	11月 前:後	12月 前:後	1月 前:後	2月 前:後	3月 前:後	4月 前:後	5月 前:後
葉とらずサンつがる	🍏	🍏	🍏						
葉とらず未希ライフ	🍏	🍏	🍏						
黄王	🍏	🍏	🍏						
葉とらず早生ふじ		🍏	🍏	🍏					
とき		🍏	🍏	🍏					
葉とらずシナノスイート			🍏	🍏	🍏				
紅玉			🍏	🍏	🍏				
葉とらずサンジョナ			🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏
葉とらずサンふじ				🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏
王林				🍏	🍏	🍏	🍏	🍏	🍏

※シーズンによってりんごの販売時期にズレが生じることがあります。

企業情報

(2020年11月30日現在 ※役員は2021年2月25日現在)

会社概要

商号	イーサポートリンク株式会社 (英字商号 E-SUPPORTLINK,Ltd.)
本社所在地	東京都豊島区高田二丁目17番22号
設立	1998年10月6日
資本金	2,721百万円
従業員	247名(連結) 244名(個別)

役員

代表取締役社長	堀内 信介
取締役副社長	仲村 淳
取締役副社長	森田 和彦
取締役	相原 徹
取締役	深津 弘行
取締役	柴田 好久
社外取締役	細川 昌彦
社外取締役	大島 孝之
常勤監査役	鈴庄 一喜
監査役	大西 洋
監査役	白石 真澄

株式の状況

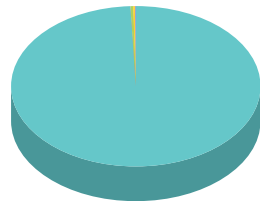
発行可能株式総数	10,700,000株
発行済株式総数	4,424,800株
株主総数	14,815名

大株主一覧表

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ファーマインド	446,200	10.08
株式会社ケーアイ・フレッシュアクセス	198,300	4.48
ピー・エス・アセット・ホールディングス株式会社	188,300	4.25
東洋埠頭株式会社	111,100	2.51
株式会社協和	106,600	2.40
株式会社フォーカスシステムズ	102,100	2.30
株式会社上組	79,200	1.79
SMBC日興証券株式会社	72,300	1.63
J.P.MORGAN SECURITIES PLC	58,300	1.31
イーサポートリンク従業員持株会	58,300	1.31

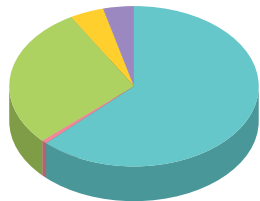
株式分布状況

■所有者別株主数比率



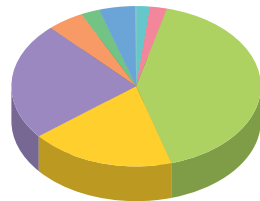
個人・その他……99.29%
金融機関……0.01%
その他国内法人……0.36%
外国人……0.22%
証券会社・その他……0.12%

■所有者別株式数比率



個人・その他……62.43%
金融機関……0.67%
その他国内法人……28.48%
外国人……4.44%
証券会社・その他……3.98%

■所在地別株主数比率



北海道……1.80%
東北地方……2.17%
関東地方……41.46%
中部地方……18.83%
近畿地方……23.71%
中国地方……4.82%
四国地方……2.42%
九州・沖縄地方……4.68%
国外・その他……0.11%

株主メモ

事業年度	毎年12月1日～翌年11月30日
定時株主総会	毎年2月下旬
基準日	11月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先	お取引の証券会社等になります。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店*
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります。)	

*：トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。

公告方法 電子公告(当社ホームページ)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更手続きについて

当社株式関係書類及び株主優待等ご送付にあたり、御引越し等により住所が変更となられている場合、お手元に届かないことがございます。住所が変更となる際は、大変お手数ではございますが、なるべく早めに当社株式をお持ちの証券会社にて住所変更手続きをお願いいたします。

イーサポートリンク株式会社

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号
TEL：03-5979-0666 FAX：03-5979-0667

ホームページのご案内

当社では、「株主通信」でお伝えしきれない情報をホームページ上に開示しています。株主・投資家の皆様に向けて、決算情報、決算説明資料、PR情報など、タイムリーな情報提供を心がけております。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.e-supportlink.com/>

IR報告

当社は、経営の透明性を高めるため、情報開示をはじめ投資家向け説明会を定期的に行っていますが、機関投資家向け「2020年11月期 決算説明会」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、皆様の健康と安全確保を最優先とさせていただくために開催を中止し、説明会の内容を撮影した動画を配信することにいたしました。詳細は当社ホームページでご案内しております。

なお、過去の説明会資料は当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRライブラリー」に掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.e-supportlink.com/ir/library/>

株主優待について

■ 対象
毎年5月31日現在の株主名簿に記載、または記録された100株(1単元)以上の当社株式を保有されている株主様

■ 内容
青森県産100%りんごジュース 3本

■ 贈呈時期
毎年7月を予定



UD FONT

本文に見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

